

サボ通

さばえNPOサポート通信

Vol.01 創刊号

発行日■2007年11月25日

発行■(特)さばえNPOサポート

編集■広報サポート事務局

サボ通は、(特)さばえNPOサポートが自主発行している機関紙です

今年もみらい塾に行っただよ!!



▲参加した子どもたちの雄姿

8月24日(金)~26日(日)、参加者とスタッフ総勢77名で南越前町の古木地区にて2泊3日のキャンプをしました。

今年のみらい塾は「たくら川と暮らしの会」の方にご協力頂き『電気も水もない生活』を体験しました。

水を付近の川から汲んできたり、火起こし器やムシメガネで火を起こしたり、ハガマ(羽釜)を使ってごはんを炊いたり…と、例年のみらい塾よりサバイバル色の濃いキャンプでした。



▲おお、この「つや」と「芳り」!

今回の活動を通じて“生きる”ことの難しさや大変さ、普段普通に生きていけるありがたさ、また、一人ではできなくてもみんなでやればできる。と、協力することの大切さを学んでくれた様子でした。

帰りの際には、「ねえ、秋みらも冬みらも楽しみにしてるぞ」とスタッフに話しかけてくる子もいて、その期待の大きさと責任の重さを改めて痛感しました。



▲こんな経験、なかなかできないよネ

高校生スタッフの独り言

今年の夏のみらい塾はどうなるんだろう。4月頃からドキドキしてました。私は今年でスタッフ2年目、参加者から数えるとみらい塾4年生です。でも、一番始めの段階からスタッフに加わるのは今年が初めてでした。

たった3日間のみらい塾の中に企画を詰めて、その企画のなかに『想い』を詰める…みらい塾はそんなかんじで出来ているように思います。



私はまだ高校生です。だから出来ることはホントに僅かで、役に立っているのかわかりません。それでも、ふと出て来たアイディアが他のスタッフさんたちのサポートで形になっていくのが楽しくて仕方なかったです。

自分達が作り上げたみらい塾、そこに参加してめいっぱい笑顔を見せることも達。みんなの心にどんなものが伝わったのかは分からないけど、それでも伝わった何かはみんなの“みらい”への宝物になると信じてます。

みらい塾は自分自身も成長出来る大切な場所です。これからも楽しみながら、みらい塾に携わっていこうと思っています。

みらい塾は
“あなたの参加も
待っています。”